

キャンパスエコロジーに関する調査（I）企画書

京都府環境審議会企画部会 温暖化対策条例検討専門委員会

栗栖智宏

1. 調査趣旨・背景

今年2月16日に京都議定書が発効し、地域においても地球温暖化に対して更に実効性ある対策を講じていく必要がある事を踏まえ、京都府は、府域における地球温暖化対策を総合的・体系的に進めるための条例を制定するとして、当審議会へ『温暖化対策条例のあり方』について諮問されました。

そこで、当審議会では専門委員会を設置し、現在、検討を進めているところです。その中で、京都府の地域の特徴とも言える大学又は学生において、取り組む事が出来る事項についても、今後、検討をしていきたいと考えております。

つきましては、府内大学の環境関係の現状を把握するため、貴大学の状況につきまして、下記によりご回答頂きますようよろしくお願いいたします。

2. 目的

- ・ 京都府下大学における環境影響度・取組状況の把握（ハード：施設・ソフト：施策の両面）
- ・ 「京都府温暖化対策条例」への審議・提案

3. 調査方法

手 段 : 統一基準によるアンケート調査

対 象 : 京都府下の主要大学

4年制大学 : 29大学

短期大学 : 19大学

期 間 : 6月上旬～6月下旬

実施主体 : 京都府環境審議会企画部会 温暖化対策条例検討専門委員会

【調査詳細】

- ・ 記入式統一基準調査項目を対象大学へ送付・回収
 - ⇒ 地球温暖化要因を中心とした環境影響度の定量データを収集
- ※ 統一基準調査項目目次
 - －キャンパスでの環境影響度実態調査
 - －キャンパスでの環境マネジメント実態調査
 - －環境実践活動・波及効果調査

4. 期待される成果

- ・ 京都府温暖化防止条例にて、大学に関する項目の検討素材
- ・ 京都府下大学における環境影響度の体系的把握